

事務 事業名	コード1	1480	観光事務費	課	商工観光課					
	コード2			所屬班	観光班					
			☐ 主要事業	電話番号	62-5388	内線	7194			
政策 体系	基本方針	5	活力と躍動感に満ちたまちづくり	予算	会計			款	項	目
	施策	5	観光の振興	科目	一般会計			07	01	03
	施策の展開	2	観光・交流イベントの実施	根拠 法令	特になし					
	基本事業	327	イベントの開催							

1 現状把握(Do)

(1)事業概要

① 事業期間	② 事業の内容 ※何をどのようにする事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない
☒ 単年度繰返 ☐ 平成 年度～ ☒ 開始年度不詳 ☐ 期間限定複数年度 平成 年度～ 平成 年度まで ※全休像を記述⇒	観光事業者や観光イベントを開催する実行委員会が加盟している観光協会を支援するとともに、観光協会と連携して観光情報等の効果的な発信、PRを行い観光客の誘致を図る。また、旭市ふるさと産品育成協議会でふるさと産品に選定された丸干しレイワシをPRして地域振興を図る。 【業務の流れ】 イベント、企画委員会の実施→実行委員会の実施→補助金申請→補助金交付→イベントの開催→実績報告→補助金の確定

(2)トータルコスト

① 事業費の内訳(費目等)	単位	21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (計画)	25年度 (計画)	26年度 (計画)
旅費28,000、需用費562,837、役務費110,619、使用料15,710、負担金及び交付金10,056,000、公課費19,000	事業費						
	財源内訳						
	国庫支出金	千円					
	都道府県支出金	千円					
	地方債	千円					
	その他	千円					
	一般財源	千円	11,424	11,824	10,792	13,359	
	事業費計(A)	千円	11,424	11,824	10,792	13,359	0
② 延べ業務時間の内訳	人件費						
七夕市民まつり 480時間、観光協会関係事務 800時間	正規職員従事人数	人	1.00	1.00	1.00	1.00	
観光PR事務 500時間、その他 235時間	延べ業務時間	時間	2,015	2,015	2,015	2,015	
	人件費計(B)	千円	7,657	7,657	7,657	7,657	0
	トータルコスト(A)+(B)	千円	19,081	19,481	18,449	21,016	0

(3)事務事業の手段・目的・上位目的及び対応する指標

手段	① 主な活動	⑤ 活動指標名	単位	21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (計画)	25年度 (計画)	26年度 (計画)
	23年度実績(23年度に行った主な活動) ・観光協会及び飯岡宿泊組合への助成、茅野市農業祭での丸干しレイワシの配布、ポスターの印刷	ア 観光協会への助成	千円	10,604	10,604	9,946	10,601		
目的	24年度計画(24年度に計画している主な活動) ・観光協会及び飯岡宿泊組合への助成、茅野市農業祭での丸干しレイワシの配布、パンフレットの印刷	イ 観光パンフレットの配布先	箇所	49	15	5	48		
		ウ 丸干しレイワシPR回数	回	3	3	3	3		
目的	② 対象(誰、何を対象にしているのか)	⑥ 対象指標名	単位	21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (計画)	25年度 (計画)	26年度 (計画)
	ア. 市民、市外住民 イ. 観光協会	ア 人口	人	70,376	70,138	69,749	69,223		
目的	③ 意図(対象がどのような状態になるのか)	⑦ 成果指標名(考え方)	単位	21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (計画)	25年度 (計画)	26年度 (計画)
	ア. 観光客の誘致による商業及び観光振興、地域内の一体感の醸成 イ. 地域で別れ独立して事業を実施している各観光協会が合併、組織の再編成を行い、「旭市」の観光協会として活動する	イベントの入込人数	人	464,000	382,600	210,000	400,000		
上位目的	④ さらに、どんな上位目的に結び付けるのか	イ 観光協会数	団体	2	2	2	2		
	観光客の誘致による商業及び観光振興、地域内の一体感の醸成	⑧ 上位成果指標名(考え方)	単位	21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (計画)	25年度 (計画)	26年度 (計画)
上位目的		イベントの入込人数	人	464,000	382,600	210,000	400,000		
		イ ()							

(4)事務事業の環境変化、住民意見等

① 開始したきっかけは何か？どんな経緯で始まったか？	② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか？開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったか？	③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？
一例として七夕市民まつりは58年前、旭市成田区の商店を中心に商業振興を目的に始まる。	七夕市民まつりは、商店数の減少から、商店振興という観念が薄れてきている。	七夕市民まつりを実行する側からは、存続の有無、存続する場合の主たる実行団体をどこにするかの見解を求められている。また、一般観客やまつり開催エリアにかかる地域住民からは、イベント内容の見直しや、開催日時の見直しを求められている。

事務事業名	観光事務費	課名	商工観光課	班名	観光班
-------	-------	----	-------	----	-----

2 評価(Check1)担当者による事後評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 結びついている ⇒【理由】 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが上位目的に結びついているか？ イベントを開催することにより、観光振興に結びついている。
	② 対象・意図の妥当性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 適切である ⇒【理由】 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？ 広く、市民及び市外住民の不特定多数の者を対象としている。
	③ 行政関与の妥当性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 妥当である ⇒【理由】 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して実施すべきか？ 関係機関と地域が一体となり、観光振興を総合的に進めることが必要と考える。
	④ 成果の現状水準	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 妥当である ⇒【理由】 あるべき水準や目標に達しているか？近隣市や類似団体と比較してどうか？ イベントの開催により、入り込み客数は増加傾向にあり、目標数に概ね達している。入り込み客数の増加により、観光振興が図られた。
	⑤ 成果の向上余地	☐ 活動量を増やせば成果は向上する ⇒【理由】 ☒ 活動量を増やさなくても、やり方を工夫することで成果は向上する ⇒【理由】 ☐ 活動量を増やしたり、活動を工夫したりしても、今以上成果は向上しない ⇒【理由】 次年度以降の成果向上が期待できるか？観光客が興味、関心を持つようにイベントの内容を工夫する、また、複数個所のイベントを一箇所で一緒に開催することにより、入り込み客数の増加等成果は向上する。
有効性 評価	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	☐ 他に手段がある ↳ (1) 事務事業名：() (2) ☐ 統廃合ができる ⇒【理由】 ☐ 連携ができる ⇒【理由】 ☐ 既に統廃合・連携している ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 目的を達成するには、この事務事業の他(民間・国県を含む)に方法があるか？ ↓ 他に手段がある場合 (1)具体的にはどのような事務事業か？ (2)類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？ 類似イベントは無く、それぞれの実行委員会が実施をしており、地域的な面を考慮すると統廃合は難しい。
	⑦ 事業費の削減余地(表面トータルコストの事業費部分)	☒ 削減余地がある ⇒【理由】 ☐ 削減余地がない ⇒【理由】 事業費を削減できないか？(経費の精査、過剰仕様の適正化、回数削減、住民の協力、アウトソーシングなど) イベントの開催には、各実行委員会が協賛金等を募り実施をしており、不足部分について市補助金を支出しており、内容等を考慮すると単純に事業費の削減は難しいと思われる。しかし各観光協会の運営補助金については、繰越額等を考慮し、平成23年度一部削減をした。
効率性 評価	⑧ 人件費の削減余地(表面トータルコストの人件費部分)	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 やり方の工夫(業務プロセスの改善など)や臨時職員の活用・委託により、正規職員の延べ業務時間を削減できないか？ 毎年イベントの開催の有無を含め、事業内容の見直しをしており、削減余地はない。
	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担が公平・公正になっているか？ 各イベントともにPR用チラシを新聞折り込み等を実施し、広く啓発をしている。また、イベントによっては参加することも可能であることから公平であると思われる。
公平性 評価		

3 評価(Check2)担当課長による評価結果と総括

(1)1次評価者としての評価結果	(2)全体総括(振り返り、反省点)
① 目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ② 有効性 ☐ 適切 ☒ 見直し余地あり ③ 効率性 ☐ 適切 ☒ 見直し余地あり ④ 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり	復興元年を掲げ、震災復興に向かう旭市において観光客等の入り込み数を上げる事は街の活性化を図る上で極めて重要と考える。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(Plan)

(1) 今後の事業の方向性(複数選択可) ※2～3年後を目処にした方向性 ☐ 目的再設定 ☐ 行政関与の見直し ☒ 事業のやり方改善による成果向上 ☐ 事業統廃合・連携(関連事業:) ☒ 事業のやり方改善による事業費削減 ☐ 事業のやり方改善による延べ業務時間削減 ☐ 受益機会の適正化 ☐ 費用負担の適正化 ☐ 廃止・休止			(3) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table><tr><th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><td rowspan="3">成果</td><td>向上</td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td>維持</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>低下</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上	○			維持				低下			
			コスト																					
			削減	維持	増加																			
成果	向上	○																						
	維持																							
	低下																							
(2) 改革改善案について ※いつまでに、なにを、どうするのか？ ① 観光イベントの開催時期を含め統廃合を検討する。 ② 各観光協会の運営費補助金については、繰越額等を考慮し削減をして行く。 ③ ④																								
(4) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 ① 観光協会が一つに合併できていない。 ② ③ ④																								